

第1学年 外国語科学習指導案

指導者 西岡 妙子

1 単元名

Unit6 A Speech about My Brother (NEW HORIZON ENGLISH COURSE 1)

2 単元について

○教材観

本単元は、登場人物(Asami)がフィリピンのセブ島にいる兄(Takuya)について紹介し、その紹介スピーチを聞いた友人がフィリピンの食べ物について質問をしながらやり取りをするという展開になっている。言語材料は三単現(肯定文・否定文・疑問文)であり、それらを使って第三者の人やものについて伝え合ったり、表現したりできるようにする教材である。

単元終末のパフォーマンステストでは、小学校の6年生に向けて、中学校の様子を伝える英語パンフレットを作成するという場面で、中学校の先生について英語で伝えるという課題を設定した。学習を重ねていく中で、「やり取り」から「書くこと」へつなげていく言語活動を仕組みながら、言語材料を活用させ、パフォーマンステストへ向けていきたい。

○生徒観

英語教育改善プラン推進事業の質問紙によると、「英語の授業で学習していることは、将来社会に出たときに役に立つと思う」「外国のことについてもっと知ったり、日本や自分が住んでいる地域のことについて外国の人にもっと知ってもらいたいと思う」と回答した生徒の割合が高く、地域社会や将来において、英語学習の必要性を理解している生徒が多い。一方で、「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う」と回答した生徒は半数を下回っている状況である。英語の学習は楽しかったり、好きだったりしても英語を使って仕事をしたいと思えない背景には、英語を「聞くこと」「話すこと」だけではなく、「読むこと」「書くこと」を総合的に活用してコミュニケーションを図ることに難しさを感じ、結果として英語への苦手意識をもってしまっているのではないかと感じている。本単元では、三単現を扱うが、やり取りを通して、三単現の音にも気づかせ、内容面を深めながら、まとまりのある文を書くことにつなげたい。

○指導観

本校で使用している教科書は、1学期までは会話文のみで構成されており、主に教師と生徒で登場人物を役割分担し、やり取りしながら再現する形で、内容把握を行ってきた。事実発問だけでなく、教科書の内容から想像できることを質問する推論発問を加えるなど、できる限り英語でのやり取りを通して本文の内容を理解する活動を仕組んでいる。

昨年度の研究に引き続き、「やり取り」の中間指導として相手に対して「良い聞き手・話し手」となれるよう、話し手は「相手に詳しく教える」、聞き手は「興味を持って知ろうとする」という意識をもって会話をし、反応や繰り返し返し、追加の情報や話題を深めるために質問をするなど、会話を継続・発展させる指導を行ってきた。今回、「やり取り」から「発表」「書くこと」への領域統合型の言語活動を単元の中で仕組んでいくが、その過程での中間指導では、言語面において様々な動詞や疑問詞の使用、内容面では接続詞を用いて文に根拠をもたせたり、自分の気持ちを加えたりする指導を行い、表現力を高めていく。また、昨年度から引き続き、客観的に自分のやり取りする姿を見取るために、Chromebookを使用して会話や発表を録画し、自己調整を促したい。

3 「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標(第1学年)

話すこと(やり取り)	書くこと
身近な人や有名人について、事実や自分の考え 気持ちなどを整理し、簡単な語句を用いてたずね たり答えたりすることができる。	身近な人や有名人について、事実や自分の考え 気持ちなどを整理し、簡単な語句を用いてまとま りのある文を書くことができる。

4 単元の目標

小学生が中学校生活に安心感をもつことができるように、中学校の先生についてやり取りをして詳しく知り、小学生の悩みや興味に触れながら説明することができる。

5 言語材料

三人称単数現在形を含む文 He likes～. Does he ～? He doesn't～.

疑問詞を含む文 What ○○ does he ～? 接続詞 and, so, but

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(やり取り) 話すこと	[知] 三単現を用いた文の構造を理解している。 [技] 身近な人や有名人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、三単現を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。	小学生が中学校生活に安心感をもつことができるように、中学校の先生について、様々な質問をしたり、説明を加え答えたりしながら、伝え合っている。	小学生が中学校生活に安心感をもつことができるように、中学校の先生について、様々な質問をしたり、説明を加え答えたりしながら、伝え合っている。
書くこと	[知] 三単現を用いた文の構造を理解している。 [技] 身近な人や有名人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、三単現を用いてまとまりのある文を書く技能を身に付けている。	小学生が中学校生活に安心感をもつことができるように、中学校の先生について、小学生の悩みや興味に触れながら、まとまりのある文を書いて説明している。	小学生が中学校生活に安心感をもつことができるように、中学校の先生について、小学生の悩みや興味に触れながら、まとまりのある文を書いて説明しようとしている。

便宜上、以下のように示す。

ア:「話すこと(やり取り)」知識・技能 イ:「話すこと(やり取り)」思考・判断・表現

ウ:「話すこと(やり取り)」主体的に学習に取り組む態度

エ:「書くこと」知識・技能 オ:「書くこと」思考・判断・表現

カ:「話すこと(発表)」主体的に学習に取り組む態度

7 単元の指導と評価の計画(全9時間)

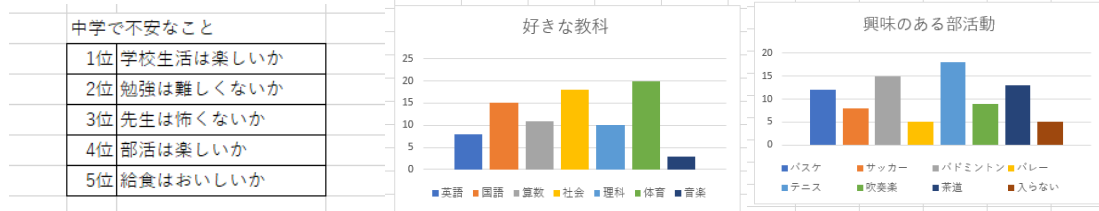
時間	目標(◆) 主な言語活動(○)	評価			
		知	思	態	◎評価規準<評価方法>
1	<p>◆単元の目標を理解する。</p> <p>◆三単現の形や意味・使用場面・用法を理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用することができる。</p> <p>○単元のゴールとルーブリックを提示する。</p> <p>○家族について、ペアでやり取りを行い(三単現のs未習)、その後、教科書で確認してsについて学習する。</p> <p>○やり取りした内容を、家族紹介(発表)の形で録画して振り返る。[録画①]</p> <p>○やり取りした自分の家族について紹介文を書く。</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
2	<p>◆本文の内容を理解し、Takuyaを紹介することができる。</p> <p>◆本文の内容や前時に書いた作文を用いて三単現の形や意味・使用場面・用法を理解する。</p> <p>○教科書の内容を T—S でやり取りし、Takuyaを紹介できるようにする。</p> <p>○教科書の表現を参考にし、前時で書いた紹介文に新たな情報をつけ加えて紹介文を書く。(多様な動詞の使用など)</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
3	<p>◆三単現の形や意味・使用場面・用法を理解し、教科書の登場人物についてやり取りし、紹介することができる。</p> <p>○教科書の人物になりきり、ペアとインタビュー形式でやり取りをする。(疑問詞を用いた疑問文の使用など)</p> <p>○ペアの人物を Takuya に紹介する動画を撮影する。</p> <p>[録画②]</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
4	<p>◆三単現否定文の形や意味・使用場面・用法を理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用することができる。</p> <p>○教科書本文で確認し、三単現の否定文はどのような形になるのかを学習する。</p> <p>○家族について、ペアでやり取りを行い、その内容を家族紹介(発表)の形で録画して振り返る。[録画③]</p> <p>○発表した家族について紹介文を書く。</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
5	<p>◆本文の内容や前時に書いた作文を用いて三単現の否定文の形や意味・使用場面・用法を理解する。</p> <p>○教科書の内容を T—S でやり取りし、Takuya についてさらに詳しく紹介できるようにする。</p> <p>○教科書の表現を参考にして、前時で書いた紹介文に新たな情報をつけ加えて紹介文を書く。(and, but や so などを使用。まとまりのある文)</p>	書	書	書	◎単元の評価規準 エ・オ・カ

6 本 時	<p>◆同窓会を欠席した長澤先生を喜ばせるために、お互いの近況についてやり取りをして、詳しく知り、ビデオレターを作成することができる。</p> <p>○同窓会の場面で友達と近況報告をする。(やり取り)</p> <p>○友達について同窓会を欠席した先生に説明する動画を撮影する。【録画④】</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
7	<p>◆三単現疑問文の形や意味・使用場面・用法を理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用することができる。</p> <p>○教科書本文で確認し、三単現の疑問文はどのような形になるのかを学習する。</p> <p>○前時の録画した紹介文を元に、友達の紹介文を書く。</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
8	<p>◆本文の内容や前時に書いた作文を用いて三単現の疑問文の形や意味・使用場面・用法を理解する。</p> <p>○教科書の内容を T—S、S—S でやり取りする。</p> <p>○前時とは別のペアで、相手が紹介している友達について質問をしたり、答えたりする。</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
9	<p>◆小学生が中学校生活に安心感をもつことができるように、中学校の先生について、様々な質問したり、説明を加え答えたりしてやり取りをする。</p> <p>○先生に関することで、教科担当に質問し、やり取りを行う。</p> <p>○やり取りをして分かったことも含めて、先生について紹介文を書く。</p>	や	や	や	◎単元の評価規準 ア・イ・ウ
10	パフォーマンステスト(※)	書	書	書	◎単元の評価規準 エ・オ・カ

◎パフォーマンステストの内容

自分の出身小学校の6年生に、中学校のことについて英語でのパンフレットを作って渡すことになりました。そこで、あなたの班は中学校の先生の紹介ページを担当することになりました。南西中学校への入学を半年後に控え、不安でいっぱい6年生が少しでも安心できるような紹介文を書きましょう。

- ・自分のよく知っている先生について一人選んで書きましょう。
- ・以下は、6年生に行ったアンケートの結果です。
- ・制限時間は、メモを取る時間も含めて20分です。



◎パフォーマンステストにおけるルーブリック(評価基準) [書くこと]

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組み態度
a	三人称単数現在形の肯定文・疑問文・否定文などにおいて、誤りのない正しい英文で書くことができる。	小学6年生が中学校生活に安心感をもつことができるように、中学校の先生について、小学生の悩みや興味に触れながら、自分の考えを、根拠を持って詳しく書いている。	小学6年生が中学校生活に安心感をもつことができるように、中学校の先生について、小学生の悩みや興味に触れながら、自分の考えを、根拠を持って詳しく書こうとしている。
b	三人称単数現在形の肯定文・疑問文・否定文などにおいて、誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障がない程度の英文を用いて書くことができる。	小学6年生が中学校生活に安心感をもつことができるように、中学校の先生について、小学生の悩みや興味に触れながら、書いている。	小学6年生が中学校生活に安心感をもつことができるように、中学校の先生について、小学生の悩みや興味に触れながら、書こうとしている。
C	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

◎パフォーマンステストにおける具体的なゴール(bの姿)

(bの姿)

This is Mr. Ogino. He *teachs* P.E. He plays basketball very well. Do you like playing basketball? He is very kind. You can enjoy P.E. class.

※表やグラフから、「体育が好き」や「先生は怖くないか」という情報を用いて、小学生の悩みや興味に触れながら中学校の先生について書いている。イタリックは誤り。

(aの姿)

This is Mr. Ogino. He teaches P.E. and plays basketball very well. Do you like playing basketball? He plays basketball with us after school. He is very kind so you can enjoy school life. I want to study with you every day.

※小学生の悩みや興味に触れるだけでなく、but や so を効果的に用いて根拠を示したり、最後に自分の考えを述べたりして、詳しく中学校の先生について書いている。

8 本時の学習


(1)日時 令和4年10月3日(月) 14:05~

(2)場所 甲府市立南西中学校 1年3組

(3)目標

同窓会を欠席した長澤先生を喜ばせるために、お互いの近況についてやり取りをして、詳しく知り、ビデオレターを作成することができる。

(4)展開

時間	生徒の活動	指導者の活動	指導上の留意点
	○【Greeting】 ・あいさつをする。	・あいさつをする。	
10分	○【T-S Interaction】 T : Today, we have many guests. Are you happy? Are you nervous? Ss : I'm happy! I'm nervous... T : I'm a little nervous. But let's enjoy today's English class, too. Today it's a special class, right? So, we can use this machine. What's this machine? (スクリーン)  Ss : タイムマシーン? T : That's right! With this Time Machine, we can go to 20 years later, 2042! Let's go to 2042!!! (スクリーンに 2022 → 2042 BGM?) T : Now, it's in 2042! 令和24年 How old are you? Ss : ??? T : You are not 12 or 13 years old. How old are you? Ss : I'm 32 years old? I'm 33 years old... T : That's right! You're 32 or 33 years old. You are not children. You are adults!! OK? Today we have a 同窓会 (class reunion)! What a wonderful! How old am I? (S から How old are you? と質問が出ればさらにいい) S : ~years old. (T: That's a secret.) T : (リアクション) T : Anyway, today is our 同窓会. Do you want to see Mr. Nagasawa? S : Yes!!! T : I am sorry but he is not here. Now, he lives in America. So he cannot come today. He moved to America. But, I have a message from him. Let's watch the video.		

動画 “Hi everyone! I live in Des Moines now. I moved to America 10 years ago. So I can speak English!! I’m 70 years old but I’m a professional triathlon athlete in America. I practice triathlon every day. Anyway, do you remember Ms. Akaike? I talked with Ms. Akaike on the phone yesterday. She has three grandchildren now! I am very happy!

I’m sorry, I cannot go to class reunion. But I want to know about you! Please send me a video! I can do my best for practice with your video! I miss you! Bye.”

(動画の内容の確認) [相手意識]

T : Mr. Nagasawa cannot come today. Why? I have some questions.

Where does he live now?

S : He lives in Des Moines.

T : How old is he?

S : He is 70 years old.

T : What does he practice every day?

S : He practices triathlon every day.

T : Who did he talk with on the phone?

S : Ms. Akaike.

T : How many grandchildren does Ms. Akaike have?

S : She has 3 grandchildren.

T : That’s right.

確認しながら板書で加えていく。

I live in ().
I am () years old.
I practice () every day .

Ms. Akaike has () grandchildren.

20分

○【Today’s Goal】

同窓会を欠席した長澤先生を喜ばせるために、大人に成長したみんなの様子を詳しく伝えるビデオレターを作成しよう。

STEP1 大人になった友達の状況をたくさん知ろう。

●(前時に行っておく)

- ・自分の将来の姿を想像して、メモを取る
- ・全員が書いてあるようにする

[W.Sh.STEPO]

○【Activity1】 やり取り

①どのように会話が始まるか考える。

Hello. Oh, hisashiburi. (Long time no see.)

②デモンストレーションを聞く。

②どんな疑問詞や動詞を使っているか注意して聞くよう指導する。

②Demonstration (2分)

T1 : Are you ... Ms. Mitsui? I'm Taeko!

T2 : Yes! Long time no see!

T1 : Nice to see you again! Where do you live now?

T2 : I live in Costa Rica. I live with a lot of animals.

T1 : Costa Rica? Sounds nice! For example, what animal do you live with?

T2 : I live with koalas!

T1 : Wonderful! You liked koalas 20 years ago. Your dream came true!

Anyway, do you remember Jeremy?

T2 : Yes, I do! We work for the same school.

T1 : Really? You work with Jeremy! I'm jealous! I want to meet Jeremy.

Nice to talk to you! Thank you. See you later!

..... どんな内容でしたか? どんな質問をしていましたか?

③デモに対して内容を近くの人と確認する。

(日本語)

[やり取り] A:詳しく話す側 B:知ろうとする側

①B(知る側)が、相手の名前を確認するところから会話をスタートさせる。(1分30秒)

(※)

②役割交代A(知る側)B(話す側)(1分30秒)

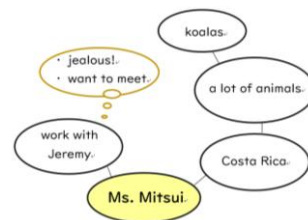
(※)

③マッピングに記入。他に相手にどんなことを聞きたいか考える。(STEP2)

④再度ペアで、今回は役割を分けず、お互いで、もう一度やり取りを行う。(同じ内容を質問しても良い)(2分)

(⑤T-Sでやり取りをする。)

STEP2に向けての相手意識の確認



③デモのマッピングを見せる。

(⑤ ④まで終わったところで、生徒をピックアップし、やり取りの様子をT-Sで確認する。)

[中間指導(※)]

①話しが進まない時
→途中で止める。シチュエーションの気付き・確認。

②話を広げたり、広がる質問をしたりしている生徒のやり取りの共有

※欠席した長澤先生を喜ばせるために、お互いの近況について詳しくやり取りをしていることを確認。

「どんな質問をしたり、答えたりすればよいか」

③言語面の気づき・確認

⑤

T : Your partner is Asami. Tell me about Asami. She...

S : She lives in ...

T : Oh, she lives in... Nice. And?

S : She has ...

T : She has... Good. Thank you very much.

	<p>(生徒のやり取り例)</p> <p>B : …Are you Kaito?</p> <p>A : Yes, I am! Are you Meg?</p> <p>B : Yes! Kaito, where do you live?</p> <p>A : I live in Italy. I'm a professional soccer player.</p> <p>B : Oh, Italy. You play professional soccer player! What team?</p> <p>A : Well, Paris Saint Germain! Messi is my friend now!</p> <p>B : Oh, cool! Do you practice hard?</p> <p>A : Yes, I do. I practice soccer every day. ……</p>		
24分	<p>○【Activity2】録画</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>STEP2 長澤先生が喜んでくれる動画を作ろう。</p> </div> <p>・再度、相手意識の確認をする。</p> <p>①録画にとるための練習。(4分)</p> <p>・マッピングに追加・話す順番を記入。</p> <p>・マッピングを見ながら話す練習。</p> <p>②長澤先生にどんなことを伝えたと喜んでもらえるかを考える。</p> <p>・自分のことも伝える ・友達の変化</p> <p>・自分の気持ち (・笑顔 ・ジェスチャー)</p> <p>③喜んでもらえる動画を意識して撮影(1分)</p> <p>④代表生徒の活動を見て、友達良かった点を確認し合う。</p> <p>・態度面・内容面・言語面</p> <p>⑤撮影、google クラスルームへ提出(5分)</p>	<p>[活動の確認]先ほど、同窓会で友達について情報を聞き取りました。今度は、同窓会で聞き取った情報をもとに、デモンにある長澤先生にビデオメッセージを作成します。どういう風に伝えれば長澤先生が喜んでくれるか考えながらビデオレターで話しましょう。</p>	
1分	<p>○【Reflection】</p> <p>・振り返りシートを記入する</p> <p>→長澤先生を喜ばせるために、どんなことを意識して友達とやり取り、録画をしたか。</p>	<p>・マッピングに番号を振る。</p> <p>①・ Do you remember ○○?から始める。</p> <p>・メモの内容は全て伝えなくても良い。</p> <p>・活動が止まっていたらデモをする。</p> <p>②・もちろん自分のことも伝えて良い。</p> <p>・友達や長澤先生に対する自分の気持ちなども伝える。</p> <p>④良かった点の確認。</p> <p>・三単現のsに注意。</p>	<p>生徒が活動の内容がわからなかった場合にはデモを見せる。</p>
	<p>○【Greeting】</p> <p>・あいさつをする</p>		

(5) 評価

※本時は、「記録に残す評価」は行わないが、以下のように評価の観点は記載する。

「話すこと[やり取り]」の思考・判断・表現

十分満足できる状況(a)	おおむね満足できる状況(b)	努力を要する状況(c)と指導の手立て
互いの近況を伝え合うために、メモを見てたずねたり、たずねられたことに対して情報を加えながら答えたりしながら詳しく伝えている。	互いの近況を伝え合うために、メモを見てたずねたり、たずねられたことに答えたりしながら伝えている。	互いの近況を伝え合うために、メモを見てたずねたり、たずねられたことに答えたりしながら伝えている。→机間指導で個別指導を行う。改善点について振り返りシートに記入する。

「話すこと[発表]」の知識・技能

十分満足できる状況(a)	おおむね満足できる状況(b)	努力を要する状況(c)と指導の手立て
聞き取った友達の近況を、三人称単数現在形などを用いながら、誤りのない正しい英文で説明することができる。	聞き取った友達の近況を、三人称単数現在形などを用いながら、誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で説明することができる。	聞き取った友達の近況を説明した英文に誤りが多いため、コミュニケーションに支障をきたし、友達の近況を説明することができていない。→机間指導で個別指導を行う。人を紹介する際の三単現のsなどに着目させる。

「話すこと[発表]」の思考・判断・表現

十分満足できる状況(a)	おおむね満足できる状況(b)	努力を要する状況(c)と指導の手立て
同窓会を欠席した先生を喜ばせるために、聞き取った友達の近況を、自分の気持ちを含めながら、まとまりのある文で説明している。	同窓会を欠席した先生を喜ばせるために、聞き取った友達の近況を、まとまりのある文で説明している。	同窓会を欠席した先生を喜ばせるために、聞き取った友達の近況を、まとまりのある文で説明していない。→机間指導で個別指導を行う。順序立てて説明する指導を行う。

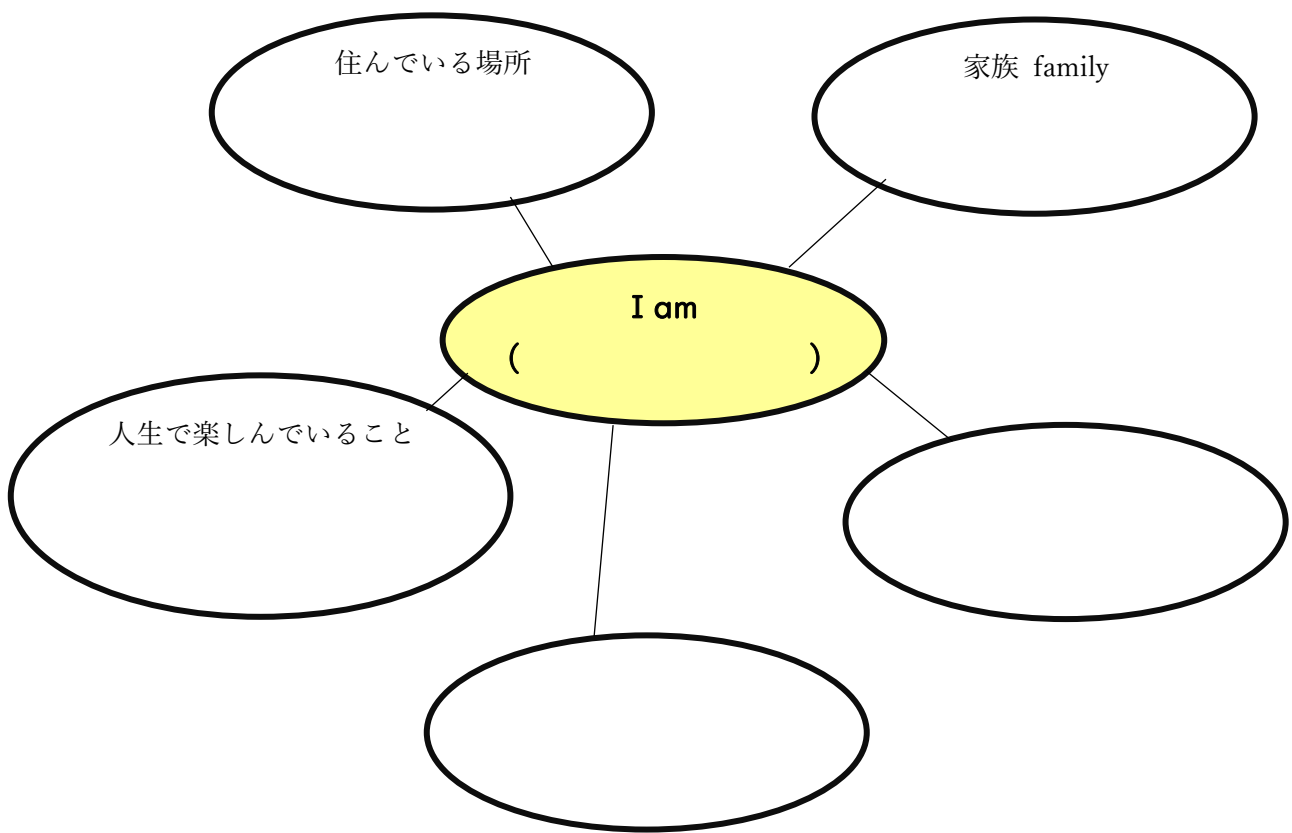
※その他の添付資料

W.Sh.[1] 前時にSTEP1を用意しておく。(タイトル・STEP1以降を重ね印刷)

All about Me in 2042 ひさしぶり！ 同窓会 It's been ages !! Class Reunion!

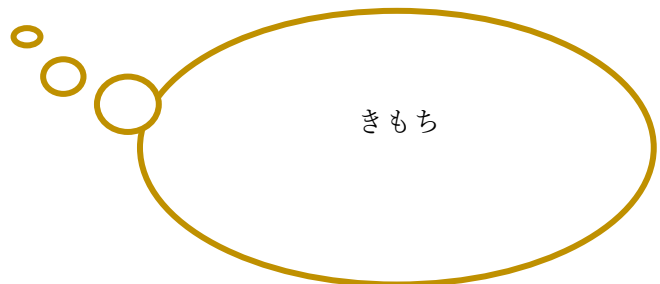
目標 同窓会を欠席した長澤先生を喜ばせるために、大人に成長したみんなの様子を詳しく伝えるビデオレターを作成しよう。

STEP0 THINK 20年後の自分は何をしているかな？

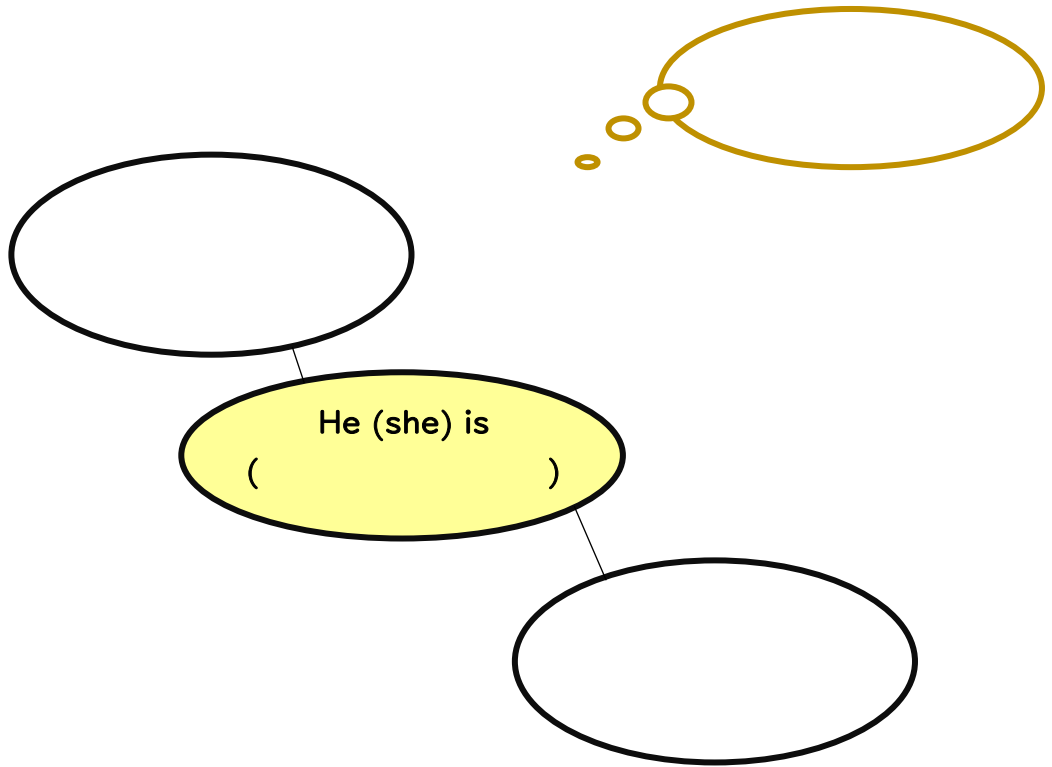


like play 以外の様々な動詞

- have enjoy
- study live
- go watch
- do speak . . .
- practice **使ってみよう!**



STEP1 NOTES 20年後(33才)の友達のことをメモしよう。



STEP2 SPEAK 同窓会を欠席した長澤先生を喜ばせるために、友達のことを伝える動画を撮ろう。

①まず、話す順番を考えてマッピングに数字を入れよう。※全ての情報を伝える必要はない。

②話す練習をしよう。 ③動画を撮影し、上手に撮れたものを提出しよう。 →Sep⑦へ

★友達のことを伝えるときは…?動作に…?

振り返りシート 「長澤先生を喜ばせるために、どんなことを意識して友達とやり取りをし、動画撮影をしたか」

STEP3 (明日!) WRITE 同窓会で得た情報を文に書きましょう。

Class	no.	name
-------	-----	------

All about Me Poster in 2022

- ◆今の自分のことをみんなに知ってもらおうポスターを作成しよう。1つのことに対して、文章を発展させて書こう。
 できるようになること⇒ ①一つの事柄について、詳しく書く。→**いろいろな動詞**を使って説明する。
 ②一つの文を、**場所やときの前置詞**を使って長くする。 ③**so**や**but**を使って文章の流れをつくる。

STEP 1 THINK これから文章にするために、アイディアメモを取ろう。⑤まで行くように頑張ろう(5分)

① = (あなた=○○ の文だよ!)		
Club?	Fan?	
② Favorite1 (□like □don't like でもいいよ)		
food?	Animal?	Book?
Sport?	Subject?	Anime?
③ Favorite2(□likeの後ろに動作を続けよう)		
例) 世界中を旅行することが traveling all over the world		
④ その他 (どんなことをする?持っている?一般動詞を使おう)		
□play(practice)	□read	□cook
□have	□	□したいこと want to
⑤ なり(=)たいもの、したいこと 例) なりたい want to be a nurse / たべたい want to eat kimchi		
want to	want to	want to

STEP 2 SPEAK STEP 1 の中から、詳しく伝えられそうなものを1~2つ選んで、★をつけよう。ペアで、★を付けたことについて詳しく伝える、知ろうとする。

ヒント	1 Yes / No で答える質問 ①=ですか? ②~しますか? ③~できますか? 2 具体的に内容を聞く質問 ①何を(何に) 何の○○ ②いつ ③どこで ④どうやって
-----	---

